

# 豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R7(2025).3.10

No.21

豊岡市のホームページにもアップしています。

豊岡市HP→上段「暮らし」→右下「教育・学校」→「教育研修センター」へ

## 豊岡市小中一貫教育 第3期豊岡こうのとりのプランへ!

豊岡市第3回小中一貫教育検討会議にて次のような改善策や提言を共有しました。

### ふるさと教育

- ☆実践の共有と研修の推進 (ふるさと教育実践報告一覧表を活用した各校の取組の共有、公開授業への積極的参加及び意見交換の活性化)
  - ➡子どもが自分事として捉え、どう自分の地域をつくっていくかという意識の伸長
- ☆教科教育との連携とカリキュラムの充実 (ふるさと教育をふまえた教科等横断的カリキュラムの編成、小中学校でのカリキュラムの共有等を行いカリキュラムの見直しを図る)
  - ➡カリキュラムを通しての小中学校の交流の一層の推進
- ☆地域を肯定的に見つめる力の育成 (「ひと・もの・こと」のうちの特に「ひと」についての学びを一層推進、子どもの抱いた肯定的評価を含んだ学びの成果を学校以外に発信する機会を設定)
  - ➡「ひと、もの、こと」にふれるような、子どもにとってやりがいを感じられる取組の継続

### 英語教育

- ☆「授業力の向上」➡高い意識水準を維持しているが、今後も全国学力・学習状況調査等の結果を踏まえながら授業研修を推進する必要がある。
- ☆「授業以外での英語を活用する場面の設定」
  - ➡学年や発達段階に合わせた興味・関心を引き出すことができる多様な学びの場を設定する必要がある。
- ☆「保護者や地域への積極的な啓発」
  - ➡学校が地域や家庭と英語を通じて連携できる風土・環境づくりを、行政と協働して推進する必要がある。

### コミュ教育

- ☆非認知能力向上とコミュニケーション能力育成の関係の整理
  - ➡小学校1・2年生で行っている演劇WSと小学校6年生・中学校1年生で行っているコミュニケーション授業の関連付けや位置付けの整理。
- ☆「めざすコミュニケーション能力の視点と活動例一覧表」の見直し
  - ➡多様な活動例を紹介し、より分かりやすく、より実践化しやすいものに更新していく。
- ☆保護者や地域への啓発と周知、理解の促進
  - ➡地域を巻き込んだコミュニケーション教育の推進、学校運営協議会と共有を図る。

### 学習指導と生活指導

- ☆「授業づくりと学級づくりの一体化」
  - ➡小中での相互授業参観等の取組目的に「授業づくり」や「単元の系統性についての交流」を加味する。
- ☆「引継ぎ連携システムの強化」➡APP-IT&スタートアップ各取組の効果検証を基にした更なる工夫改善。
- ☆「家庭・地域との連携」➡これまで取り組んできた内容をコミュニティ・スクールで共有し協力体制を構築しながら、さらに効果的な取組をめざす。

### これまでの示唆より

#### ◎小中一貫教育…9年間の学びと育ちを支え生きる力を育む「豊岡こうのとりのプラン」

#### 1 小学校と中学校の各取組の共有

- ➡小学校での学びを中学校でどうつないでいるか。9年間の学びと育ちの共有。

#### 2 地域の「ひと、もの、こと」の効果的な活用

- ➡子どもたちが、学校のあるべき姿、地域のあるべき姿、自分が何をすべきかということについて主体的・対話的で深い学びをしていく。先生方、友達だけでなく地域の人と対話していくことが加わってくる。

#### 3 探究、総合的な学習の時間について➡批判的な思考力を持つ子どもたちを育てていくこと。

○探究の大切な目標は、積極的に社会に参画する態度にある。地域社会に参画するといった社会問題を解決する、校区の問題、学校の問題に関わっていく。

○「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」のサイクルを総合的な学習の時間で何回も行うことが大切。

○課題の設定は、教員が課題を決めて主導するのではなく、子どもたちを上手に誘い込むことが大切。子どもが発見する、地域の中から課題を探し、自分なりに日常生活や社会に目をむけて課題を設定することが大切。